

## JAしまね 自己改革工程表（令和元年度～令和3年度）

### 1. 農業者の所得増大・農業生産の拡大

重点施策	具体的取り組み		目標数値		
			令和元年度	令和2年度	令和3年度
農家所得の向上	○JA販売高416億円の実現に向けた販売計画	米穀	10,051百万円	10,189百万円	10,274百万円
		園芸	7,763百万円	8,224百万円	8,677百万円
		畜産	17,268百万円	18,211百万円	18,962百万円
		産直	3,179百万円	3,293百万円	3,694百万円
		合計	38,262百万円	39,919百万円	41,608百万円
担い手育成	○地域の担い手育成				
	新規就農者の研修先の確保	就農前研修施設の設置	栽培実践研修の受入	栽培実践研修の受入	
	集落営農の設立・法人化支援	組織化・法人化支援 20件/年	組織化・法人化支援 20件/年	組織化・法人化支援 20件/年	
	○農業経営管理支援				
	経営支援の強化	法人記帳代行20件	法人記帳代行30件	法人記帳代行40件	
	経営分析診断に基づく経営コンサルの実施	11経営体 (各地区本部1経営体)	15経営体	15経営体	
	○事業承継支援				
	事業承継の地区本部担当者の育成・支援実施	担当者育成研修の実施 TAC1人1件	15件	20件	
	○農作業等の安全・安心対策				
	農作業事故防止啓発	TACかわら版での啓発 春と秋の集中啓発期間での周知	TACかわら版での啓発 春と秋の集中啓発期間での周知	TACかわら版での啓発 春と秋の集中啓発期間での周知	TACかわら版での啓発 春と秋の集中啓発期間での周知
	農業労災保険加入推進	各生産者組織の総会等で加入促進 TACを中心とした加入推進	各生産者組織の総会等で加入促進 TACを中心とした加入推進	各生産者組織の総会等で加入促進 TACを中心とした加入推進	各生産者組織の総会等で加入促進 TACを中心とした加入推進
	○農業労働力確保対策				
	農業サポーター制度	サポーター制度の検討	サポートセンターの設置	サポートセンターの設置	

重点施策	具体的取り組み	目標数値		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
米穀生産販売	○「コシヒカリ」から「きぬむすめ」「つや姫」への転換			
	「きぬむすめ」と「つや姫」への作付誘導	きぬむすめ5,700ha つや姫 1,590ha	きぬむすめ6,000ha つや姫 1,600ha	需給動向を踏まえ見直し
	○事前契約（複数年・収穫前）数量確保による結びつき安定取引の拡大			
	事前契約数量目標	出荷契約数量に対し80%	出荷契約数量に対し80%	出荷契約数量に対し80%
	複数年契約数量拡大	契約量6,000t	契約量10,000t	需給動向を踏まえ設定
	○業務用途向け品種の導入			
	有望品種の試験栽培	3品種を選定 収量性・栽培適正の検証	2品種での生産販売展開	2品種での生産販売展開
	生産者と実需者の結びついた契約拡大	契約量500t	契約量700t	契約量1,000t
	○「作り手の顔が見える販売」の推進			
	生産者限定米の販売推進	2卸業者	5卸業者	5卸業者
水田を活用した 園芸作物の推進	○水田フル活用による園芸振興の推進			
	安定生産に向けた基盤整備の推進	5経営体の実施	7経営体の実施	10経営体の実施
	園芸型高収益作物導入検討と実践	高収益作物の選定・実証	高収益作物の実証	高収益作物の普及
	広域産地化に向けた運送・施設整備	輸送形態の検討	保冷施設の設置	広域産地化の確立
	○重点推進5品目の更なる生産拡大			
	キャベツ	新規作付6ha	新規作付8ha	新規作付10ha
	たまねぎ	新規作付6ha	新規作付9ha	新規作付10ha
	ミニトマト	新規作付1ha	新規作付2ha	新規作付3ha
	白ねぎ	新規作付3ha	新規作付3ha	新規作付4ha
	アスパラガス	リースハウスの推進	新規作付3ha	新規作付5ha
	○果樹の生産維持・拡大			
	デラウェアの老木からの改植（優良系統）	改植5ha	改植5ha	改植5ha
	リースハウス導入・団地化への推進	5ha	5ha	5ha

重点施策	具体的取り組み	目標数値		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
畜産農業産出額の拡大 と品質の向上	○和牛繁殖			
	市場上場の目標	5,500頭	5,700頭	6,000頭
	発育目標等一定基準を満たした牛に装着するリボン装着率向上	巡回等での飼養管理マニュアル推進による子牛市場でのリボン装着率向上 (装着率13%)	巡回等での飼養管理マニュアル推進による子牛市場でのリボン装着率向上 (装着率15%)	巡回等での飼養管理マニュアル推進による子牛市場でのリボン装着率向上 (装着率18%)
	○養鶏			
	農場HACCP・JGAP認証取得	1件	1件	1件
	○養豚			
	出荷頭数の拡大	30,700頭	31,300頭	31,900頭
	○肉牛			
	脂肪酸数値を活用した販売	70頭	120頭	300頭
	○酪農			
自家育成での保留する後継牛数	1,200頭	1,250頭	1,250頭	
産直を活用した農業所得 の向上	○直売所同士での季節の“旬”を補完し合うことで地産地消と地産都商での生産販売の拡大			
	県内直売所間物流の構築	直売所間のニーズ調査 季節商材の試験販売開始	直売所への出荷体制整備	県内直売所ルート確立
	新たな販路の拡大	生産力強化・出荷体制整備・市場調査	県内インショップ形式の直売拡充	都市部への販路拡大
	○生産履歴の記帳による生産物の安全安心の徹底			
	生産履歴システムの活用	生産履歴記帳率70%	生産履歴記帳率100%	残留農薬検査等の実施
	GAP・HACCP対応	JA自主GAPの導入	美味しまね認証の推奨	美味しまね認証率30%
生産資材コストの低減	○銘柄統一した水稻肥料への集約拡大と県域を超えた銘柄集約			
	銘柄集約による供給	2,200t	2,300t	2,400t
	○大型規格による価格低減			
	大型規格でのカバー面積の拡大	2,300ha	2,400ha	2,500ha
	○低価格銘柄による品揃えの充実			
ジェネリック農薬等の採用	10銘柄採用	15銘柄採用	20銘柄採用	

重点施策	具体的取り組み	目標数値		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
	低価格銘柄の供給拡大	180 t	200 t	220 t
	○低価格トラクターの取り組み強化			
	低価格モデルの推進	15台供給	36台供給	10台供給

## 2. 地域の活性化

重点施策	具体的取り組み	目標数値		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
くらしの活動	○食と農に関する活動	農業体験教室、食農教育、地産地消による料理教室、地元農産物直売等イベントの実施	農業体験教室、食農教育、地産地消による料理教室、地元農産物直売等イベントの実施	農業体験教室、食農教育、地産地消による料理教室、地元農産物直売等イベントの実施
	○地域貢献活動	生活文化活動、健康管理活動、子育て支援、助けあい活動、地域ボランティア、地域活動への参加	生活文化活動、健康管理活動、子育て支援、助けあい活動、地域ボランティア、地域活動への参加	生活文化活動、健康管理活動、子育て支援、助けあい活動、地域ボランティア、地域活動への参加
	○支店ふれあい活動	JA・支店まつり、来店感謝デー、スマイルデー、支店だより発行、支店イベント活動等の実施	JA・支店まつり、来店感謝デー、スマイルデー、支店だより発行、支店イベント活動等の実施	JA・支店まつり、来店感謝デー、スマイルデー、支店だより発行、支店イベント活動等の実施
地域貢献・地域活性化	○地域活性化に取り組む地域組織、グループ、団体の活動を継続して支援	地域振興支援資金を活用して、地域活性化に取り組む地域組織、グループ、団体の活動を継続して支援	地域振興支援資金を活用して、地域活性化に取り組む地域組織、グループ、団体の活動を継続して支援	地域振興支援資金を活用して、地域活性化に取り組む地域組織、グループ、団体の活動を継続して支援

※記載している内容は、「第2次中期経営計画」「第2次農業戦略実践3カ年営農計画」より抜粋したものです。